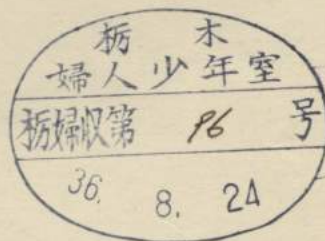


檢	E
	Da
	4

勞働者家庭

生活技術指導狀況報告

— 昭和35年(1月~12月) —



労働省婦人少年局

労働者家庭の主婦を対象とする生活技術指導は、別添の実施要領にもとずき、各婦人少年室において昭和33年から実施している。開始以来、モデル地区の対象となった事業場は、指導終了したもの及び、現在も指導を継続して受けているものを合わせて97事業場である。

指導は原則として1カ年（12カ月）をもつて終了するたてまえであるが、なお継続して指導が必要と認められる場合には延長して行ない、その間において自主的な「家政研究グループ」に移行するようにうながしている。

指導内容は、家計指導や衣食住に關することから、保健衛生、子どもの教育、人間関係など広範にわたっているが、対象家族、生活環境等の実情を勘察して、それぞれのモデル地区に必要なものを送り、理論と実地指導を行なっている。

これらの指導は、特にそのために置かれている婦人少年室専任協助員が、室長の指示のもとづいて行なっているが、必要に応じて各分野の専門家、有識者等を要喚し、専任協助員の行なう指導に対して協力を得ている。

なお指導を終了し「家政研究グループ」に移行した地区に対しては、側面的に助言指導を行なっている。

昭和36年7月

労働省婦人少年局

モデル地区における労働者家庭生活 向上のための技術指導計画実施要領

1. 趣 旨

労働者が十分な生産活動を行うためには、労働者自身の福祉とともに、家庭生活の向上がのぞまれるので、そのための施策の一助として、社宅等労働者住宅の密集地区における労働者家庭に対し、生活向上のために必要な技術について集団的・継続的に指導援助を行うものとする。

2. 実 施 対 策

労働者住宅密集地区の中から選定したモデル地区における労働者家庭の主婦とする。

3. 実 施 方 法

労働者婦人少年局は労働者家族の生活技術指導を担当する協助員を選任し、婦人少年室を通じて左の方法によって指導を行うものとする。

(1) 懇談会の開催

婦人少年室長は専任協助員とともにこの問題についての関心を高めるため、労働者家族および関係事業所、労働組合等とモデル地区において懇談会を随時開催する

るものとする。

(2) 専任協助員による技術指導

専任協助員はモデル地区に出張し、直接労働者家族に接して集団指導を行うものとする。

(3) 連絡員

婦人少年室長はモデル地区に居住する労働者家族の中から特にこの問題について熱意をもつ有能な主婦を当該地区における連絡員として置くよう勧奨する。

4. 指導内容

家計、保健、衛生、家事作業、教養、娯楽、人間関係等家庭生活に含まれる諸項目に關し、向上のために必要な知識の普及および技術の指導ならびに協同活動の育成指導を行うものとする。

5. 実施開始の時期

昭和33年労働者家族福祉運動期間中は懇談会を開催し爾後継続的に技術指導を行うものとする。

生活技術指導のためのモデル

府県別	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金		
			世帯数	平均家族		平均	最高	最低
北海道	日本醤油(株)札幌工場	499	162	4	有	23.000	67.000	9.000
青森	和田製食料工業(株)青森工場	260	28	3.3	有 (工場 見学)	20.000	35.000	12.000
岩手	松尾鋳業(株)松尾鋳業所	3968	583	5.0	有	17.000	25.500	7.000
宮城	東北金属工業株式会社	815	50	5.0	有	16.000	40.000	12.000
秋田	秋田木材株式会社	996	71	4.0	無	14.30	16.000	7.500
山形	山形倉工業(株)西沢製糸所	286	24	3.7	有	19.374	50.000	10.000
	山形鉄興社山形工場	790	72	2.9	無	27.732	49.446	15.381
福島	日東紡績(株)富久山工場	1,471	154	3.9	有	32.000	98.000	19.000
	株式会社福島製作所	514	63	4.5	有	28.994	34.084	19.289
茨城	日本鋳業(株)日立鋳業所	4500	127	4.5	有	13.000	30.590	9.000
栃木	帝国繊維(株)鹿沼工場	874	142	4.0	有	18.000	50.000	13.000
群馬	白石工業(株)白鷺草工場	257	40	4.0	有	18.000	32.000	12.000
埼玉	大阪黒業(株)東京工場	220	105	5.5	有	21.000	39.000	16.000
千葉	東京電力(株)千葉火力発電所	362	122	4.0	有	20.000	80.000	15.000
東京	東都製鋼(株)東京製鋼所	1,195	232	3.6	有	29.000	45.000	18.000
神奈川	三菱重工業(株)横浜造船所	7,193	207	5.0	有	22.000	35.000	15.000
新潟	(株)新潟鉄工所新潟支社	3568	74	5.0	有	19.780	23.830	11.330
	日東紡績(株)新潟工場	583	102	2.7	有	25.000	87.000	15.000
富山	三菱アセート(株)富山工場	553	92	4	有	30.000	73.000	22.000

ル地区一覽表

主婦会・家族会		里からの 所要時間	専任校助員名	参 考
有 無	加入状況			
無		20	佐々長久恵 豊田千代子	35. 12 終了
無		15	川島ミサ	36. 3 終了
有	全員数 530	1.50	伊藤定美 岩瀬 詢	
有	全員加入		坪内みさを	35. 12. 終了
無		80	長内 忍	
有 無	全員加入	120	高橋 政 作田 薫	工場街のFめ3月にて止め 35. 1~35. 3 35. 4 開始
有 無	全員加入	150 20	田治千恵	35. 7. 終了 35. 7. 開始
有	115	80	津田理子 石垣美根	36. 2. 終了
無		45	川田金子	
無		120	宮崎弥生子	
有	100	90	松原一枝	35. 3~ 36. 2
無			鈴木 勝子 小谷野美都子	36. 2. 終了
有	不 明	45	姫浦暢子	
有		60	高田 露子	36年3月終了
無 無		30 35	西田はつ子	35年3月終了 35年. 6. 開始
無		50	堀 篤 信子 三 藤 久	35. 12. 終了

府県別	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金		
			世帯数	平均家族		平均	最高	最低
石川	国鉄金沢鉄道管理局	12,612	65	4.4	有	20,679	46,440	16,252
福井	福井精練加五株式会社	663	67	3.6	有	30,683	51,020	13,505
山梨	日産電化工業(株)日下部工場	190	29	3.6	無	不明		
長野	昭和電工(株)大町工場	1700	700	3.2	有	31,800	56,600	10,440
岐阜	岐阜紡績株式会社	1037	61	3.5	有	25,000	48,000	14,000
静岡	送定中							
愛知	大同電機(株)稲沢工場	692	92	4.3	有	22780	64,000	14,156
三重	宝通造(株)桶工場	127	38	4	無	24,000	60,000	19,000
滋賀	数島帆布(株)草津工場	380	39	4	有	29,115	46,318	14,820
京都	三菱製紙(株)京都工場	400	57	2.6	有	57,705	102,300	19,429
大阪	茨木第一府営住宅		100	4.0	有	17,000	40,000	9,000
兵庫	小泉製麻株式会社	2600	316	2.8	有	26,720	65,500	12,000
奈良	広福織物株式会社	221	11	4.5	有	12,560	25,000	7,000
	日本アスベスト王寺工場	328	120	3.0	有	工)16,800 販)29,300	65,200 68,100	7,151 10,290
和歌山	住友全屋(株)和歌山製造所	3252	44	3.9		28,000	45,000	15,000
鳥取	国鉄米子管理局鳥取駅	841	48	4.8	有	26,000	51,000	13,800
島根	ア-エ-工-紡織製作所宍道工場	1095	108	4.3	有	工)22,521 販)26,246	30,119 38,864	11,907 15,750

主婦会 家族会		室からの 所要時間	専任協助員	参 考
有 無	加入状況			
有	(会員数) 291		鋤田 友枝	36. 4. 終了
無		15	野村 みかき	36. 3. 終了
無			若宮 さよの	下期における指導なし
有	(会員数) 500	180	松園 ハ重子	
無		30	花岡 ふさ子	対象者の都合により1回のみ にて指導中止
有	加入(89)	90		35. 4. 終了
無		60	岡田 シジヨ	35. 12. 終了
無		30	仙頭 利子 西村 伸子	
無		40	河村 とみ	35. 7. 終了
有	全員加入	60	山根 シゲヨ	35. 12. 終了
有	"	30	花野 正代 江 節	対象地区の都合により指導 なし
不明		120	藤沢 光子	35. 6 にて中止 35. 7 開始
有		45	栗野 登美子 岡本 かほる	
有	43	25	萩野 春子	
無		45	押田 芳枝	

府県別	事業所名	従業員数	対象世帯について		集会所の有無	モデル地区労働者の月収賃金		
			世帯数	平均家族		平均	最高	最低
岡山	倉紡(株)倉敷工場	1280	386	4.2	有	22,966	29,085	15,755
広島	三菱造船(株)広島造船所	5332	45	3.6	有	35,000	70,000	6,000
山口	桜山炭鉱株式会社	680	300	4.2	有	20,000	34,000	9,000
徳島	東亜合成(株)徳島工場	277	57	4	無	23,600	35,000	19,000
香川	常磐産業株式会社	709	36	5	無	16,300	25,000	8,500
愛媛	井関農機株式会社	1058	48	3.3	無	25,000	34,000	16,000
高知	日本セメント(株)土佐工場	370	47	3	有	21,000	31,520	18,660
福岡	東洋高圧工業(株)大牟田工業所	3,148	175	5.3	有	26,900	不明	不明
	三井化学工業(株)大牟田工業所	4242	54	4.8	有	29,000	33,100	25,600
佐賀	高倉鉱業(株)岩屋鉱業所	350	300	5	有	15,000	25,000	5,000
長崎	三菱造船(株)長崎造船所	13,000	40	5.3	有	26,200	51,400	16,000
熊本	日華ゴム(株)熊本工場	1,657	75	4.7	有	15,000	40,000	10,000
大分	住友化学工業(株)大分製造所鶴崎工場	715	46	3.1	無	26,408	29,803	23,305
宮崎	宮崎交通株式会社	2266	23	4.1		19,875	29,170	15,740
鹿児島	国鉄 西鹿児島工場	1153	93	5.0	有	29,600	29,700	23,400
計	50	89,759	5675					

主婦会 家族会		室からの 所要時間	専任 援助員	参 考
有 無	加入状況			
			本 咲 三枝子	35. 7月より実施 35. 12月終了
有	不 明	30	中 村 文 江	専任協助力病気のEめ下半期 指導なし
有	全員加入	90	山 田 佐 長 子	35. 12. 終了
無		20	稲 田 洋 子	35. 12. 終了
無		9	川 村 秀 子	対象地区の都合により指導なし
無		10	和 田 ス エ	35. 12. 終了
無		30	三 本 の ぶ 子	36. 3. 終了
有 有	全員加入		板 谷 は る 子	36. 1. 終了
有	380	60	佐々木佐和子	35. 12. 終了
有	全員加入	50	井 手 芙 娘 恵 原 ヒ サ 子	
無		35	田 中 文 子 緒 方 ハ ル	
有	全員加入	30	岩 本 京 子 三宮久江 石 井 芙 裕 子	
無		20		35. 12 終了
有	全員加入	22	井 上 ツ ル 西 き 子	

上半期分（1月～6月）
北海道婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1.25	家計案について（講義） 予算の立て方	36名	
2.8	冬期間の家庭料理実習	30	
3.1	子供を中心とした料理実習	30	
4.	子供のしつけについて （参看としてアメリカのスライド を使用 家庭における子供のし つけの仕方を説明）	20	
5.9	住に関する事 器具に関する事 （住、器具に関しての見学）	25	
6.20	白いものの洗濯について （洗濯実習）	20	

青森婦人少年室

3.19	初顔合せ モデル地区労働者家族の福祉について 趣旨説明	15	
4.15	婦人週間のテーマについて懇談	17	
5.21	会員相互の親睦を兼ね、社会見学	19	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	雪印乳業青森工場 東洋ビスケット工場 自衛隊青森駐屯部隊 NHK青森テレビジョン放送局		
6.15	家計のいとなみについて 講義 (家庭生活と経済、人間関係について)	16	講師 室長

岩手婦人少年室

4.13	上手な買物について (講義) ○どんな買い方をしているか ○不合理な点 ○希望する点 ○上手な買物の条件は元金買いである。 ○元金買いにもってゆくためには ○記帳の申し合せ	18	講師 伊藤定実
5.13	冬物衣類のしまつ 講義と実習 ○毛織物の簡易クリーニングの仕方 ○オーバー上衣、ズボン、スカート等 実習	30	

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
6.16	○ 毛織物類の洗い方 洗剤と洗い方説明 ○ しまい方入れ物、防虫剤について - ふとんの手入れ 講義と実習 ○ 寝具の物数について ○ それぞれの手入れについて ○ かけふとんの綿入れととじ方、実習 ○ 敷ふとんの綿入れととじ方、実習 ○ 座ふとんの綿入れ講義	50	

宮城婦人少年室

4.22	子供のしつけの仕方 (乳児 幼児期の子供の心理とあ つかい方についての話)	40	
5.25	弁当のおかずの作り方 実習及びぺんとうのおかずのえらび 方 (1人/食 10円以内であがるもの)	57	
6.26	子供のしつけの仕方 (4月の続きで、この回は少年期 の子供の心理としつけ方、及び)	52	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	（非行少年の実例をもとに話を進 めた。話のあと懇談）		

秋田婦人少年室

1. 21	食生活改善 米食偏重の弊害について パン食麵食の合理的な食べ方について 料理実習	10	
2. 18	食生活改善 食品衛生について 食物費についての話し合い 食費節約の方法 食品の共同購入		
3. 18	衣生活の改善（講義） (1) 衣生活の計画の立て方について 家族の衣服調査表及び衣服購入 計画表作成記入 (2) 衣服の合理的な手入れ法。洗剤の選 び方について アフガン編の指導	13	専任協助力員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
4/18	生活時間の問題について (1) 婦人週同秋田地方会議出席者の 報告を中心にして話し合い。	9	
5月予定 (6.4)	衣生活の改善 (1) 駅制服の買い方について (2) かしこい消費者について	10	専任協助員
6月予定 (7.1)	病人の看護について (1) 看護の心がまえ (2) 病室について (3) 各症状に応じた手当 (子供の病気を中心に)	9	

山形婦人少年室

1月	家庭経済 - 予算の立て方 特に労働者の健康増進をはかるための 食物費のとり方について説明	17	講師 高枝敏論 佐藤清子
2月	子供の生活指導 子供の心理的発達と上手な勉強のさせ方 講義と実地指導		青木新助氏

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
6月	子供の生活指導 子供の心理的発達とその扱い方	17	

福島婦人少年室

1. 10	三色食品研修（赤黄青の食品について）	59	
1. 20	洗濯機洗濯法洗剤等の研修	47	
2. 1	冬季間における子供の扱い方について	61	
2. 20	家計簿の記載方法とその発表 討論	38	
3. 1	私達家族の健康をかたむ	51	助言者 保健所 大和田文子氏
3. 15	読書会 巡回文庫、テレビ、ラジオ発表会	45	
4. 8	妊産婦 家族計画、乳幼児のあつかい	34	助言者 保健所 石井ケ子氏
4. 20	健康食法とその料理法	61	
5. 6	レクリエーション（うしろの集い、民舞）	66	指導者 公民館主 事 熊田武男氏 婦人会体育部長 佐藤ヨシ子氏
5. 15	蚊とハエの撲滅実施		町衛生主任 村松幸一氏指導
6. 1	夏の食生活 家族の健康 これからの病気	42	腹改良普及員 金 友 明氏
6. 20	衣生活 住生活 食生活	54	

茨城婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1.25	目標 生活費を効果的に使うために 生活技術向上の基礎をつくる (食生活を中心に衣、住、子供 生活管理の問題も併せて研究実践する) ○ 1.2月の「貯蓄費」についての反省と問題点などの話し合い 年始の物価調査(年末と関連して) 供給所調査 ○ 衛生費について 各家庭の衛生費の占める内容と総収入との比 衛生について 救急薬品、備付品の標準 救急措置の初歩	44	協助員 看護婦 室長
2.3	これからの生活技術をいかに進めてゆ くか 話し合い(婦人少年局参考資料 配布)	41	専任協助員
3.2	調理をはじめるにあたって	45	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
3.2	調理をはじめるにあたって 1. 調理をする時の心構へ 身仕度、食器類の取扱い計量 2. 料理実習 〇 懇 談 衣食住についての3月の心おぼえ 次回までに、各自家庭にて実習し、家族の感想をまとめる	45	
3.26	交通費についての話し合い 〇 雑費について 家計簿の運営について雑費予備費 その他の項目の必要性について 〇 懇談会	38	
4.5	子供の新学期を迎えて	34	津田専任協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	1. 主人、子供のお弁当の研究 ・ 年令をカロリー・お菜の配合 つめ方の工夫 2. 料理実習 3. 懇談		
5. 4	春着、冬着の手入れ 毛織物の簡易フリージングについての話 実習 料理実習 懇談	45	
6. 1	梅雨期にそなえて 1. 梅雨期の簡単な防水法 実習 2. 料理実習 3. 懇談	54	

栃木婦人少年室

1月~4月	技術指導についての打合せ	11	全社関係者 主婦等
5. 15	食生活について講義 1. 人生と食生活	45	専任助員 (栄養に関する資 料研究)

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
6.26	2. 人体と栄養素の関係 3. 栄養的にみた日本人の食糧構成 4. 食品の組合せ 食生活について講義 1. 六大栄養素について 2. 我々日本人に特に欠乏しかちな栄養素とその補給について 3. 何をどれだけ食べたらよいとか、六つの食品群を中心として研究する 4. 献立作成と 作成上の諸注意	28	専任協助員 (食料に関する資料配布)

群馬婦人少年室

1.25	一般防犯及び家庭における青少年のしつけについて	38	警察署長
2.8	婦人のためのわかりやすい法律知識「民法について」	46	室長
3.10	講義 栄養の知識 家族計画について		保健所医師 婦長
4.8	懇談 講義 梅雨期から夏季に向う家族の健康管理について	38	工場医

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
5.9	婦人のためのわかりやすい法律知識 民法について	41	室長
6.8	家族が働いている職場の見学 労働者の災害防止と家族の協力について 講義と懇談	42	監督署長 〃 第=係長

埼玉婦人少年室

3.15	生活勉強会の趣旨説明 家計簿について 記入の徹底 今月の献立実例につき説明及栄養の知識 来月の予定について話し合い	53	
4.26	1. 生活時間の設計と自由時間について 2. 今日の献立実例につき説明及栄養の知しき 3. 家計簿記入の記録収集 4. 来月の予定について話し合い	54	室長 専任協助力員
5.15	料理実習	52	専任協助力員
6.15	先月の料理実習の反省並びに今月の献立説明 家族計画について 講演による集団一般指導	53	保健所 斎藤松村氏

千葉婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
2. 2	生活技術研究会について 家庭生活向上について懇談	40	室長
3. 11	経済生活について 家計簿の必要性、上手なつけ方	}	講義
5. 13	食生活について 一日の必要量について つりあいのとれた食事（講義）		
5. 31	衣生活について 梅雨期をひかえくの毛織物の簡易クリーニング 実習	23	
6. 27	衣生活について 新しい繊維と洗剤 実習	19	

東京婦人少年室

8. 18	向うノ年間の指導の打合せ	4	
8. 25	全体指導 教育映画「子供の叱り方、ほめ方」鑑賞 懇談	40	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
2. 8	グループ指導 (五月荘) グループ貯金として / 人月 200円を会合の時持ち寄り、主婦たちのレクリエーションの費用にあてること、今後の指導内容について話し合う	20	
2. 8	グループ指導 (5丁目社宅) グループ作りの意義と作り方、運営方法等を平易に説明する。	20	
2. 24	清和荘指導 今後の指導内容について懇談 子供のしつけ、親子のずれ、やりくりについて等の希望が多かった	19	
2. 28	八丁目西社宅指導 今後の指導内容について懇談 希望として 青少年向け教育映画の鑑賞、料理実習、姑の生き方、更年期について、癌の話、子供の教育について等があった	23	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
3. 9	若葉荘指導 今後の指導内容について懇談 子供のしつけ、やりくり、大人の道徳 内職指導等が多く、殊にハ昼一間の の社宅なので、子供の遊び場が欲しいなどの意見も多かった。	27	
3. 16	雄和荘指導 今後の指導内容について 懇談 指導希望内容として 料理実習 家 計簿のつけ方など出された。	10	
3. 23	銀月荘指導 指導内容について 懇談 希望として 教育映画をみるの話し合い 家計簿のつけ方、子供のしつけ 等が出された。	19	
4. 2	弥生荘指導 グループ作りの希望あり、やりくり、料 理実習 思春期の子供のしつけ等も出された。	14	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
4. 18	全体指導 教育映画「娘は娘・母は母」をみて 話し合い	60	
5. 9	6丁目社宅指導 家計のやりくりについて指導してほ しい旨の申入れがあつた。	11	
5. 16	8丁目本社宅 指導 指導内容について話し合つた結果、 美容体操、料理実習などの希望があ つた。	28	
5. 23	全体指導 マッチンカーで栄養料理の講習	60	城原保健所の 幹旋による
5. 30	袖ヶ浦荘指導 小学生児童のしつけについて	9	
6. 4	都営8丁目住宅指導 家計のやりくり、内販、子供のしつ け等について指導してほしいとの意 見あり	12	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
6.23	全体指導 。上手なくらし方、やさしい家計簿のつけ方の指導を行う。 。あらかじめプリントした家計費目分類例示として、用途分類表、収支計算表、家計簿記入例記入練習用紙等を各目に渡し、講師の説明順に記入練習を行った。 。臨時託児所を隣設の娯楽室に設け、講習時間中、子供を授けた。	80	講師 日本女子体育短大 末玄和子氏 日本女子体育短大 保育専門の先生 2名による
6.30	市川市・菅野寮指導 グループ指導	12	
6.30	真向寮・平和寮合同指導	16	

神奈川婦人少年室

1.25	家庭管理について 1. マスコミの影響 2. 父親の生活態度の影響 3. 幼児のしつけについて	15	講師 横浜社会教育課 青崎係中村氏 室長
------	---	----	--

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
2. 25	労働者家族生活技術指導の趣旨説明 今後1年間何を目標に研究するか 主婦と懇談		
3. 14	主婦の希望により 第1回料理講習会 1. 家計簿と栄養について 2. 食品の分類及び食物の取り方について 3. 実習	53	講師 横浜保健所 栄養士市川氏
4. 26	第2回料理講習会 1. 成長期におけるビタミン源の必要 量について 野菜に含まれている ビタミン類 2. 年齢別栄養所要量について 蛋白質の重要性について 3. 実 習	33	前と同じ
5. 27	第3回料理講習会 1. 蛋白質の効果と経済について 2. 労働と栄養価について 3. 実 習	27	前と同じ

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1.21	中華料理について 大豆と栄養について 実演	30	料理研究家 柳原 勇氏

新潟婦人少年室

	(a. 地区)		
1.22	家計の話 家計簿のつけ方と 収入に家全費の 接分の仕方を説明	18	
2.5	子供のしつけ 幼児 児童のしつけについて	36	講師 中央児童相談 所長
2.15	1. 予定生活について 朝仕事の種類と時間 こいねい掃 除日のさめ方 一年間の予定の立て方 2. 簡易クリーニング 毛織物の洗濯の仕方 実習	12	
3.5	時局講演会 (b. 地区)	28	講師 新 日 報 社 坪山編集次長
3.4	家計のはなし	27	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
	家計簿のつけ方、収入と家立費の 分の仕方。		
4. 4	簡易クリーニング 実 習	29	
	予定生活について		
5. 11	毛織物の洗濯 実習	22	
	子供のしつけ		
6. 11	栄養について	28	
	1日の必要量		
	栄養からみた1日1人の食費内容に ついてお話		

富山婦人少年室

2. 3	懇談会	60	
	1. 家庭管理上の問題点について		
	2. 生活技術指導の内容について、何を 希望するか		
3. 29	講演会	42	講師 室長
	自主的な生活設計について		
	1. 婦人団間の意義		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2. 自由時間の定義 3. 自由時間の生み出し方と生かし方について 4. 23 1. 講義 「児童栄養の特殊性」 イ. 回食の回数 ロ. どんな食品がよいか ハ. 分量等について 2. 料理実習	40	
5. 16	育児相談室の開設 1. 講演 乳幼児の育て方 イ. 母乳の詰め方 ロ. 離乳について ハ. 未熟児の原因と育て方 ニ. 小児マヒの原因と予防 2. 個別に乳幼児の生活・育児相談	26	協助員

石川婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
5.27	食生活の工夫及び一般放養講座 1.料理講習 2.時局講演	32	講師 北口 新風社 副主筆 小川 捷夫氏
6.22	食生活の工夫 1.季節料理の使い方 2.料理講習	33	

福井婦人少年室

1.8	家庭管理についての懇談会 1.家庭経済 2.家族の健康 3.停年制について	14	講師 室 長
2.8	健康保険 厚生年金保険について講義		講師 県保課課長補佐 京沢一馬氏
3.14	労災保険 国民年金保険 母子福祉 金について講義		講師 厚生局労災補償 課課長補佐 小松 茂正氏 室長
5.9	石けん工場見学 石けんの製造工程を見学後、石けん の良否、石けんと繊維についての話をきく		日華化学工場 見学

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
6.15	カビについて かびと衣食住及びその処置について 講義		福井保健所 ハ木秀晶氏

山梨婦人少年室

1.22	1. 共同購入についての知識 2. アルカリ性食品について 3. いためものの注意 4. 炊込み御はんの炊き方 実習	23	講師 専任協助員
2.23	1. 婦人週間について 2. 一年の生活設計 3. 友愛セールの仕方 4. 簡単に作れる衣服の作り方 簡易帯の作り方 古い浴衣の利用 長襦袢の作り方	12	
3.18	1. 生活時間の設計について 婦人週日を迎えるにあたって 2. 内職あっせん依頼 3. 料理実習 (ひな祭り料理)		講師 専任協助員

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
4. 25	1. 婦人風間にあたって 2. 主婦の生活の時間割の作製について 3. 電気器具の購入について 4. 料理実習	18	講師 専任技助員

長野婦人少年室

1. 18	家計研究会 34年度、家計簿を中心に新しい年の消費生活についての研究を行う	33	司会 専任協助員
2. 22	懇談会 社宅における明るい人間関係を作る ことについて	31	司会 専任協助員
3. 8	家事作業 冬物衣類の整理の仕方についての指導	36	司会 専任協助員
4. 19	懇談会 自由的な生活時間の設計について	29	
5. 14	懇談会 モデル地区としての反省	35	司会 室 長

岐阜婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
5.27	1. 環境衛生について 蚊・ハエの発生より撲滅までの話 2. 栄養食について 3. 厚生映画	35	講師 羽島保健所長 厚生課長 専任協助力員

愛知婦人少年室

2.11	スエーデン刺繍講習会	25	講師 内取公共取業 補導所長
------	------------	----	----------------------

三重婦人少年室

1.22	明るい家計 限られた収入の中で主婦のやりくり の方法を研究する	24	講師 婦人向園祖 談員
2.17	人間関係について 家族立所のつきあいの和合について の話し合い	22	講師 伊勢市修善小学 校長 辻井 尊子氏
3.21	食物と栄養 食物に含有される栄養の必要量につ いて 西洋料理の実習	25	講師 名古屋山田学園 永井長久子氏

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
4.15	生活時間の自主的な設計のために 日々の生活の中で自由時間のつくり 方とその生かし方を研究する	25	講師 協 助 員 常盤井敏子氏
5.10	マスコミからみた社会実情及び婦人の 心構え	20	講師 津放送局放送 部長 大岩由尾氏
6.10	主婦の一日の時間の使い方 一日の生活時間を有効につかうこと について研究する	20	講師 専任協助力員

滋賀婦人少年室

1.18	1年間の計画 今後の方針を話し合う 連絡員を決定し 当日の資料のプリ ント等は労組が担当することに決め た	23	
2.18	1.料理実習 2.話しあい 「ぬる前の家」「起きたての家」を テーマにする。	14	
3.17	1.料理実習 2.話し合い	10	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
4.21	食糧の使い方について 1. 料理実習 2. 話し合い 完全食と半調理について がらくたのない家	16	
5.26	1. 料理実習 2. 話し合い がらくたのない家にした経験発表	15	
6.23	1. 料理実習 2. 話し合い イ. がらくたのない家にした経験発表(=) ロ. 粉食と米との換算		

京都婦人少年室

2.11	料理実習 小麦粉を利用した料理 1人分 50円	12	
3.3	1. 料理実習 家庭日常料理 1人分 35円	14	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2 栄養と調理・消化と吸物について話し合い		
4.19	1. 衣服の手入実習 2. 料理実習	12	

大阪 婦人 少年室

1.26	食生活を豊かにする爲に 。 食生活と計量について 。 受験生向きの献立の工夫 頭脳の栄養について 。 料理実習	35	指導 新しい暮らしを 作る協会 ベターホーム・プロ ダクツ 講師 田中東子氏 栄養士 横沢安子氏 谷口文子 山根協助員
2.23	料理実習 今年の婦人週間について懇談	32	指導 新しい暮らしを 作る協会 ベターホーム・ プロダクツ 講師 平松礼子氏 栄養士 藤子氏 道倉協助員
3.22	講義 食生活を豊かにする爲に 発育成長期 の子供の栄養 料理実習	30	指導 2月例会と同じ 道倉協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
4.26	講義 食生活を豊かにする爲に発育成長期 の子供の栄養 料理実習	30	指導 新らしい暮らしを 作る協会 ベターホーム プログラム 講師 中田本子氏 栄養士 磯又孝子氏 山 小阪協助員
5.24	料理実習	30	指導 4月例会と同じ
6.28	自由時間をどのように使っているか — 社会の爲に 家庭の爲に 自分の爲に —		助言者 菅野協助員 安家 ヲ 体験発表者 和田治子氏 米信子氏 山根道倉協助員

奈良婦人少年室

6.11	1. 家族の福祉増進計画実施の趣旨説明 2. 家事家計の運営について 3. 今後の運営方針とその方法について 協議	20	
------	---	----	--

鳥取婦人少年室関係

1.11	} いけばなの指導	8	
27		7	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
2.17	懇談会 (生活技術指導を終了するに当り)		専任協助員 室長
5.17	1. 生活技術指導実施のための懇談会 2. いけばなの指導	45	室長 相談員
5.25	いけばなの指導	14	"
6. 8	"	11	"
6.10	家計簿講習 1. 家計簿の必要性について 2. 家計簿の内容 3. 生活水準のさめ方	16	県農業改良普及員 上山 徹次氏
6.19	料理実習 1人前 52円	29	
6.22	いけばなの指導	14	相談員

島根婦人少年室

1.13	懇談会 生活技術指導の反省と今後の在り方 (主婦の自由時間調査票を配布)	14	
2.17	講義と座談 予算の組み方—生活費の割合—	27	講師 専任協助員

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
3. 16	講演 国の経済、家庭の経済 (主婦の自由時間調査票回収)	30	講師 島大助教授 内藤正由氏
4. 20	講義と懇談 オム回婦人週刊について (主婦の自由時間調査結果発表)	150	講師 室 長
5. 11	講義と実習 各種繊維の扱い方 一洗濯、アイロンのかけ方、保存法 等 一	14	専任協助員 友の会員
6. 15	料理実習 家計から割り出した栄養と料理 一 朝、昼、晩の献立 一 一人当り料費 50.- 2300 カロリー	35	指導 専任協助員

広島婦人少年室

6. 17	ボーナスの時期を迎えて家計のあり方、 及び、家計簿のつけ方について。	70	
-------	---------------------------------------	----	--

山口婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1. 18	教育講座 児童より青年期までの家庭教育について	25	講師 小野田市学校 教育課長 大庭司氏氏
2. 8	料理実習 材料費平均 27円	24	
3. 7	料理実習 材料費平均 25円	20	
4. 29	料理実習 材料費平均 25円	22	
5. 30	料理実習 材料費平均 23円 缶詰についての説明	15 22	
6. 29	料理実習 材料費平均 19円		

徳島婦人少年室

1. 27	1. 保健について 高血圧・ガン・結核等についての 予防と手当について 2. 家計経済 家計簿のつけ方について話合	35	講師 北島町立病院長
-------	---	----	---------------

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
2. 10	1. 家計経済 イ. 家計の重要性について ロ. 家計の現状について ハ. 家計上に現れた食物費の割合について 2. 栄養について イ. 何をどれだけとればよいか ロ. アメリカ、カナダ その他ノロ数カ国の穀類、でんぷん、カロリーの割合及脂肪攝取量の比較 ハ. お米とビタミンB₁について ニ. ビタミンAの摂り方について 調理法及びノ日のビタミンAの必要量を実物（人参、ほうれん草など）によって示す。 ホ. つりあいのとれた食事について	40	
3. 5	料理実習 主として弁当のおかずについて	56	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出 席 者 数	備 考
4.20	婦人週間リエクリエーションとして運動会		
5.27	集団生活のあり方 イ. 夫と妻のあり方について 夫の気持を十分理解出来る能力のある妻となり、ただ単なるハウスマーパ―でなく精神的な結びつきがもつとも大争であると同時に、肉体的にも健康な妻でありたい事を強調 ロ. 子供と親について 叱らないで育てる実例を会員が発言 ハ. 近隣同志について		

愛媛婦人少年室

4.27	料理実習 1人材料費 50円 講義 〇寒さにまけない栄養のとり方	38	
------	---	----	--

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	豆腐料理のいろいろ 温食について ○ そのための献立は 基本献立 食費のつかい方 ○ 懇 談 わが家の食生活の設計		
2.24	料理実習 1人材料費 65円 講義 夕食の献立 栄養と目標	36	
3.28	料理実習 1人材料費 50円 講義 子供の発育と栄養 子供の喜ぶ節句料理のいろいろ	32	室長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
4/18	婦人週間行事として座談会 テーマ 生活技術は向上したか (自由時間との関係) お話 テーマ まず生活の時間割を	34	司会 専任技助員 講師 室長
4/30	見学 松山中央公民館結婚式場	25	室長 相談員
5/27	料理実習 /人材料費 42円 講義 サンドウイッチの知識 使途と栄養価 — 算出の仕方 洋風の調味料と香辛料の種類と使い方	30	
6/10	お話と懇談 梅雨期の食品衛生 (食品の保存の仕方) 活動の反省と家政研究グループについて懇談		室長

高知婦人少年室

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
3.28	初顔合せのため懇談	20	
4.28	家庭管理の問題について (特に人間関係について) 映画「切手のない手紙」を教材として父 母子の人間関係はどうあるべきかにつ いてお互に意見の交換をしながら 指導を行った。		
5.18	主婦の自由時間について 映画「主婦の時間割」を教材にして 自由時間とは、どういう事か、自由 時間の作り方や上手な使い方につい て話し合った。	18	
6.17	家庭設計について 映画「娘の設計」「パパの日曜日」 を教材として豊かな家庭生活を築く ためにはどうすればよいかについて 研究しあった。	18	

福岡県人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	(a地区)		
1.20	労働者家族の生活の特色について講義 又今後の指導内容について懇談	50	
2. 8	労働者家族の福祉について 1月にひきつづいて労働者家族問題 について具体的に説明項目毎に主婦 の考えをきく (婦人少年問題審議会の報告書を 基礎とする)	48	
3.11	懇談 主婦の勉強と相俟って夫婦の懇談会 を併行して行いたい希望があった。 今後話し合いのきっかけになる問題に ついてアンケートを出し、皆が最も 関心のあつた問題から入ることを決定	48	
4.22	婦人の時由時間について懇談 特に生活設計については夫の定年問 題にからみ、労働者家族として子供 の問題に関心をもっている。		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	生活設計の基本問題として子供の問題をまず勉強したいとの希望があつた。それで基本的な考え方について室から助言した。		
5.23	環境の問題について懇談 前月にひきつづき子供の問題をとりあげる前にまずわか子だけという考え方をのぞく必要があつたので集団住宅の中の問題としての考え方/人/人の努力でできることと団結の力でできることなど話合つた。	46	
6.12	子供の教育について 母親の態度の反省 教育費について子女の教育問題はどうか 等の話し合いを行う。 (女、地区)	48	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
6. 8	労働者家族問題の概要について説明 (労働者家族の生活の特色を配布)	50	

長崎婦人少年室

1. 11	1. 家計簿のつけ方 初心者むき日記式家計簿に月集計表を付けたものを配布し記録の仕方の説明する。 2. 月集計のしかた 月集計は何故必要かを話し合い、費目をたて、それに分類して集計するしかたを指導する。 (家計箋と月集計表ノカ月分配布す)		指導 専任協助員
2. 13	1. 家計簿のつけ方 ハ、ノカ日記入した家計箋を、各自もちより、費目に分類するしかたの不明の点を指導する。 ロ、家計の中で各費目の占める割合を	37	指導者 長崎県立大短大 教授田中ノ子

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
	検討する。 ◦ 食費が収入の半分の割合ぐらいになっていけば、その家庭の収入と支出のバランスがおおよそとれていると考えてよい。 ◦ 貯蓄は収入の1割程度 ◦ 被服費は一年分計算する。 ◦ 食物費の中を検討する。 栄養の一日基準量と食品の市価とおにらみ合わせて次のように見当をつける。 主食 40円 魚肉 35円 野菜 10～15円 調味料 10円 茶 1円 果物 3円 油は 10人家族で 1日1合		
3.9	食生活の反省と栄養の知識 1. 家計の中で食物費の占める割合を検討しながら 各自食生活の反省をする。	38	指導 専任教職員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2 栄養四表とノ日必要量の事例に準備した現品見本をもとに説明する。 ◦ 食品の組合せ方を考える。 ◦ 特にカルシウムをとることを考える。 ◦ 牛乳の栄養価について ◦ 肝臓病の蛋白療法について 4/11 話し合い学習 1 子供のこづかい ◦ こづかいのやり方。こづかい帳をつける習慣をつける事。 2 子供のおやつ ◦ 栄養上から考える ◦ 食事にしつかえないよう考える ◦ 好ましくないおやつ 3 婦人週間長崎県婦人会議出席者の報告 4 1年間の実施予定計画表を配布し説明する。	32	指導 専任協助員
5/10	おやつの料理実習	33	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
6.10	1人材料費 21円 家計簿をつけてみて半年間の集計と反省 研究発表者のテーマ(2名) ①他費目とのつり合いと家族の健康を 考え、栄養のバランスに重点をおい て記入したもの ②赤字を出さず工夫し努力したもの	36	指導 専任助産員

大分婦人少年室

4.26	モデル地区設置について懇談会	27	
6.6	〃		

宮崎婦人少年室

1.28	はなしと映画 世界の青少年と婦人たち (ヨーロッパ視察旅行を終えて)		県警本部巡査 元明文夫氏
3.15	家族計画について 講義 (幻燈 模型使用) 質疑応答 婦人週間について懇談		講師 宮崎保健所 助産婦 松岡 タネ氏 富永ミズエ氏
4.15	婦人週間の資料配布		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
5/15	講習内容についてのアンケート		
6/15	夏の保健衛生について { 暑熱に多い伝染病 夏の健康なくらし方 夏疑応答	20	講師 医師 高見康夫氏

鹿児島婦人少年室

1/12	主婦の経済生活と今年度の計画について 講話 及び レクリエーション	45	専任協助員 室長
1/26	料理実習 (重労働者を主としたこんだて) 「団地の人間関係、生活技術指導につ いての所感」の懇談	10	
2/22	料理実習	50	
2/24	〃	50	
3/23	婦人の知っておきたい法律について 1. 現在の婦人の地位について 2. 婚 約 3. 結 婚 4. 夫婦の法的関係	30	講師 坂口婦人相談 所長

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
	5. 財産関係 6. 子供の権利 7. 相続遺産等		
4. 7	1. 婦人週間のテーマについて説明 2. 社宅内の地域婦人会と家族会の今後のあり方について協議		専任協助員
5. 30	座談会 今後の会のもち方について 1. 昨年度の反省 本年度の目標 2. 託児所の問題 3. 内職の問題	25	
6. 14	レクリエーションの打ち合せ会 (主婦だけの旅行の計画)	30	
6. 27 ~28	レクリエーション (主婦のみの旅行)	20	専任協助員 同道

下半期分(7月～12月)

北海道婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
7.21	家庭料理実習	30	
8.30	反抗期の子どもの扱い方その他児童 心理一般 (講義)	30	講師 学芸大学教授 岡路市郎氏
	1 弟ノ反抗期ヲ2 反抗期の心理的 発達 段階		
	2 欲求について 基本的欲求 社会的欲求 欲求不満		
	3 子どもの扱い方 1958年ハローの実験 マザリングの大切なこと		
9.27	家庭料理実習	30	
10.15	衣類について(講義)	20	
	1 衣に関する年間の予定		
	2 綿貝綿の種類について		
	3 衣類カードその他について		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
11.21	講義	25	
	住いに関する事		
	年末の生活に関する事		
12.15	料理実習	30	

青森婦人少年室

7.15	1. 家計簿記入について ○ 各費目の分け方 ○ 予算生活を実行するにはどのような処に重点をおくべきか。 ○ 決算の仕方 2. レバーの栄養価と料理法について	20	室長 協助員
10.21	座談会 労働者家族福祉の問題について	22	婦人少年局 井上事務員
11.9	主婦のための消費生活セミナー 1. 労働者家族福祉行政について 2. 消費生活の一端について	16	室長 中大高校教師 小笠原清子氏
12.12	○ 家庭料理実習 ○ 新年よりの家計簿記入についての指導		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1. 19	食物の成分についての講座 1 栄養所要量を充たす食品構成について。 2 各種ビタミンについて 3 家庭婦人としての心構えについて。 4 新年会を兼ねて懇談	13	
2. 28	食物の成分についての講座	10	
3. 16	終了式及び家政研究グループ移行について	13	

岩手婦人少年室

10. 13	レース編講習	10	
11. 14	缶詰を主材とした料理 (板料費 1人前 35円)	19	
12. 13	予算生活について(講義と話し合い) 1 1年の仕事くばり 2 1カ月の予定 3 1週間の暮らし方	8	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	4 / 日の時間割		

宮城婦人少年会

8.30	ふとんの綿入れ講習	36	講師 近江川とん産
9.15	洗濯講習	42	日本救済会 東北支所
10.13	消費生活について（講義）	45	元河北新報論 説委員 兵衛栄次氏
11.6	レクリエーション（	60	
12.9	修了式及び反省会	80	

秋田婦人少年会

7.15	家庭看護について 1 救急処置 ほう帯三角巾の使い方につい て 2 病人の動かし方 3 水泳時の注意	19	
8.20	1 家庭看護について （1）子どもの伝染病について （2）家庭常備薬及び看護材料について	26	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
9.26	2 母親の集いに参加しての報告 家庭生活の科学化（能率化）について 1 能率的な家庭器具の使い方 コンロ、天火、煮焼器、ミキサー トースター等の実演説明 2 科学化された器具を使用することによって得る余暇時間の活用法について話しあい、	23	
10.27	主婦のための消費生活セミナー	45	元県生活改善普及員指導者 渡部文氏
11.20	家庭管理について 1 能率的な台所改善について 2 洗濯場の改善について	22	
12.18	お正月料理実習	20	

山形婦人少年室

8.月	○子どもの生活指導 ○夏期の保健衛生 ○懇談	25	専任補助員 保健所長 斯波八郎氏
-----	---	----	------------------------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
9月	○子どもの生活指導 ○思春期青年期の子女の心理と生活指導について具体的な事例により説明 ○懇談		
11月	○労働者家族の消費生活のあり方 ○質疑応答 ○消費生活に関するアンケート記入	67	専任協助力員

福島婦人少年室

10.27	発表式 ○労働者家族の福祉問題並モデル地区の趣旨説明 ○指導実施計画のアンケートをとる	37	
-------	---	----	--

茨城婦人少年室 (36.2終了)

2.6	健康に夏をすごすために 1 家族の健康 2 料理実習 3 アンケート実施 4 話し合い	48	専任協助力員
-----	---	----	--------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	7月の心おぼえ 各自の実習感想体験談		
8. 3	夏を涼しくくらす 1 料理実習 2 さつぱりした涼しい着物を着る ために白木綿を上手に洗濯する方 法 — 実習 — 3 話しあい 8月の心おぼえ 各自実習感想体験談	36	専任協助員
9. 17	秋を迎える準備 1 婦具の手入れ 新しい化繊わた、マットレス等 に対する知識を深める。 実物をみながら研究 2 話しあい 9月の心おぼえ	57	茨城 ハマホーム社等
10. 19	行事の多い季節を迎えて 1 子どもの教育費おこずかいについて	28	専任協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2 料理実施 3 こづかいについてアンケート 4 話しあい 10月の心おぼえ 各自の実習感想体験談		
11.19	主婦のための消費生活セミナー	136	講師 茨城大学教授 高木 暁氏
12.12	年の暮を迎えて 1 新年を迎えるための年末のくらし方 衣食住などについての新年の準備 一年間の反省 2 料理実習 3 話しあい 12月の心おぼえ 各自の実習感想体験談		専任協助員
36 2.1	寒い冬を暖かく過ごすために 1 料理実習 2 話しあい	45	専任協助員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2月の心おぼえ 各自の実習感想体験談 3 終了のことは 4 モデル地区終了後の家政研究グループの発足について		

朽木婦人少年室

8.21	家計簿について (講義) ○家計簿記帳の必要 ○記帳上の諸注意 ○家計簿上の各費目について ○各支出費目と食費の関係 懇 談 名人の家計のやりくりについて	15	
10.2	幼児教育について (講義) ○幼児の心身の発達について ○幼児時代の躰け方 イ 一般の心得 ロ 種々なくせの芽生えと矯正法	11	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
1.23	○新時代における道徳教育について 1年間の反省（懇談）	12	

群馬婦人少年室

7.8	家庭管理について 現在並の家計簿記帳の検討と生活の 反省	40	専任協助力員
8.8	子どものしつけについて 夏季休暇と反抗期における子どもの 指導について	42	"
9.8	生活改善について 衣食住に関する一般教養講座	40	講師 県生活改善専門 指導員 島田まことの氏
10.8	職場見学 家族の働いている職場の見学	38	
11.8	衣と住について 暖かく暮すために手入れと保存につ いて	40	専任協助力員
12.8	生活設計について 年間における生活の反省と将来への	44	室 長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	生活設計について		

埼玉婦人少年室

7.18	1 夏休みの子どもについて話しあい 2 夏の栄養について ○暑い時の栄養について ○体力、食欲ビタミンなどつりあいのとれた食事、赤黄緑の食品の必要量について ○トーフや生野菜の消毒細菌と寄生虫について 3 7月の献立説明 4 来月の予定について 5 YWCAお母さんの夏休みに参加御誘	50	室長 専任協助員 婦人問題相談員
8.21	料理実習 (実習費 1人 50.- 会社員担)	50	室長 専任協助員
9.15	1 働く婦人の福祉運動について説明と話しあい		室長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	2 今月の献立实例につき説明		専任 協助力員
	3 新しい繊維とその扱い方		婦人問題相談員
10.17	1 会の今後の運営と反省のための 懇談会	10	室長 専任 協助力員
	2 見学(県庁、県会議事堂、自治会 館、県立図書館、東電サービスセン ター)		婦人問題相談員
11.6	1 今年の献立实例につき説明	50	室長
	2 消費生活セミナー 計画的な消費生活の衣食住		専任 協助力員 婦人問題相談員
	3 消費生活に関するアンケート記入		友の会家事 家計担当 リーダー 有賀かほ子氏 有藤智恵子氏
12.18	1 お正月のおつまみと暖かい鍋物料 理につき説明と試食	40	室長 専任 協助力員
	2 家計帳記入のし方指導		婦人問題相談員
	3 今後の運営と反省について		

4 葉婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
7.12	夏休みの子どものしつけについて (講義および懇談)	23	
8.3	夏休み中の子どものおやつについて (料理実習)	17	
9.12	くらしの合理化について — 時間のくりまわし方 — (講義)	15	
10.24	1 主婦の消費生活のあり方(セミナー) 2 消費生活に関するアンケート実施	26	
11.10	工場見学とレクリエーション ○日本毛織中山工場 ○市川市里見公園	19	
12.12	お正月料理について (実習)	32	
36 1.17	家庭電気器具の修理と扱い方 — アイロン、トースター等 — (実習、懇談)	15	東電リサーチ センター 所長 鈴木清氏 指導
2.28	1 1年の勉強をふりかえって		室 長 専任助員 千葉火力事務課長

東京婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席人数	備考
8.13	懇談 ○ 内服について ○ 社宅の人間関係について ○ グループ指導役の状況について	31	
9.26	映画鑑賞 教育映画「主婦と生活」 話しあい	80	
10.22	見学 NHK、家庭裁判所、地方裁判所	85	
11.29	料理講習 正月用料理	85	講師 料理研究家 萩野静子氏

神奈川婦人少年室

7.13	第5回料理講習会 1. 夏の健康と脂肪について 特にビタミンAの補給と野菜 摂取の必要について講義 2. 実習	32	講師 栄養士 市川雪子氏
------	---	----	--------------------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
8.19	材料費 /人当り 110円 第6回料理講習会 1. 夏の健康と栄養成分 2. 合理的な食事原型について講義 3. 実習 材料費 /人当り 159円	35	講 師 栄 養 士 市 川 雪 子 氏
9.27	第7回料理講習会 1. 献立をつくることを考えましよう。 カロリー計算のしかた 成人1人1日に必要な栄養価 についての講義 3. 実習、カロリー計算実施 材料費 /人当り 56円	12	全 上
11.8	労働者家族主婦との懇談会 ○生活技術指導の効果について ○生活における諸問題	38	全 上
11.17	第8回料理講習会		全 上

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	1. 缶詰食品の利用方法について ○缶詰のみわけ方 ○ビタミンの補給について ○おいしく食べるコツ 2. カロリー計算について 3. 実習、カロリー計算実施 材料費 / 人当り 63 円		
12. 9	第 9 回料理講習会 1. お正月料理の改善について 2. お正月料理と栄養のバランスについて 3. 実習 カロリー計算実施 材料費 / 人当り 323 円	21	講師 栄養士 市川啓子氏
36 1. 26	第 10 回料理講習 1. 献立と栄養価について 2. カロリー計算実施 3. 実習	15	"
2. 24	第 11 回料理実習	18	"

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	1. 子どもの栄養と肉食 2. カロリー計算実施 3. 実習		
3.16	生活技術指導終了まとめ 懇談	22	

新潟県立少年室

6.7	栄養について 栄養からみた1日1人の食費内容	28	
7.8	麵類の栄養のある食べ方 実習	33	
8.5	ワイニヤツの扱い方 実習	17	
9.9	レバーの栄養について 実習	24	
10.14	油を使った料理 実習	22	
11.11	半調理についての話	23	
12.9	正月料理について	16	

富 山 婦 人 少 年 室

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
8. /	夏季児童対策についで ① 子どものしつけ ② 夏休みの子どもの生活設計 (子どもの小づかいの与え方指導)	30	
9.2 /	料理実習 ① / 日の所要熱量と蛋白所要量から お弁当の献立にも考慮が必要であることを指導 ② / 日の献立を作成する折の食品の 組合せ方法を指導 ③ 実習	48	
10.28	家計研究会 ○ 家計の取り方、予算の立て方 家計簿のつけ方について指導 ○ 実際にどのような工夫をしてつけて いるか実例を示して指導	30	
11.12	主婦のための消費生活セミナー	34	日 銀 富 山 市 青 田 吉 司 氏

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
12.17	「ここからの消費生活について」 手芸教室 スエーデン刺しゅう		

福井婦人少年室

7.11	1時間でできる洋服のつくり方の実習	13	講師 友の会会員
8.22	明るく家庭生活を築くための話しあい ① 明るい人間関係について ② 家計簿について	10	
9.12	計画的なくらし方についての講義	10	
10.10	家計簿の記帳について講義と話しあい レース編の実習	10	
10.18	レース編の実習	10	
10.24	〃		
11.18	労働者家庭の消費生活のあり方について講演	31	講師 経済調査協会 事務局長 長谷川直樹氏
12.12	クリスマスケーキの作り方の実習	15	
36 2.27	家庭料理の改善について講義	14	講師 福井保健所 渡辺和子氏

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○栄養学の基礎についで ○主な食物の栄養素 ○1日の必要カロリー		
3.20	子どもの正しい育て方についで	14	講師 元児童相談 所長 吉田 秀雄氏

石川婦人少年室

7.5	料理講習	50	
8.6-7	ピクニック (1泊旅行)	40	
9.9	講演「幼児の心理」	48	講師 金沢大学教授 沢田 忠次氏
9.20	料理実習	46	
10.6	講演「少年の心理」		△ 上
11.19	研究会 家庭管理についで	48	
	講師 金沢大学教育学部教授 木越美知子		
12.17	料理講習	43	
	正月料理		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
36 3.23	講演「青年の心理」	28	講師 金沢大学教授 沢田忠次氏
4.11	1 料理講習 子ども向きケーキの作り方 2 反省会 終了にあたって		

長野婦人少年室

7.24	講義 栄養の基礎知識について (1) 労働による各種栄養の必要摂取 量について (2) 献立の立て方	63	専任協助員
7.31	料理実習	96	"
8.10	1. レクリエーション 2. 懇談会 (1) モデル地区として生活技術指導 に対する意見 (2) 社宅のつき合い(人間関係)について	360	" 室長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
9.13	料理実習	125	専任協助員
9.15	簡易クリーニングの実習	96	
10.23	1 主婦のための消費生活セミナー 2 料理実習		戸板好大教授 橋山光子
11.29	料理実習	132	専任協助員
12.3	講義 合理的な家計の立て方	185	"

三重婦人少年室

7月	衣生活の改善について ○社会の近代化に伴う衣生活の改善	24	婦人問題相談員
9月	衣食住についての懇談会 ○主婦の生活を豊かにするためお互いの意見を交換し研究する	22	
10月	消費生活と計画性	22	婦人少年局 足立事務室
11月	主婦の健康 30才より中年期における主婦の健康及び疲労回復について講話	23	
12月	1 お正月料理実習	22	

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	安価で手軽にできるもの5品 2、終了にあたって1年間の反省		

滋賀婦人少年室

7.21	1 子どもの問題について話しあい 2 料理実習	10	専任協助員
8.18	1 食事日記のつけ方について話しあい 2 食料料理実習	12	・
9.15	1 食事日記の発表 2 献立について話しあい 3 料理実習	14	・
11.24	1 消費生活に関するアンケート実施 2 予算生活の必要性と家計策について話しあい 3 料理実習	12	・
12.15	1 家庭生活と予算生活について話しあい 2 35年の反省	12	・

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	3 料理実習（正月料理）		

大阪婦人少年室

7.26	懇談会 小中学生の夏季休暇の過ごし方について	30	協 助 員
8.23	講習会 夏の栄養と健康について	32	"
9.27	懇談会 秋のレクリエーション活動について その計画と実施		"
10.25	講習会 秋の栄養と健康について	30	"
11.22	懇談会 我家の経済生活について	30	"
12.13	懇談会 2年間の玉水主婦の会を振り返って	35	"

奈良婦人少年室

7.2	講義	11	
-----	----	----	--

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○料理を始める前に知っておきたいこと、 ○調理の基礎について ○より料理を作る手順及計量カップとさじについて ○1日の栄養と材料の配合について		
7.23	講義及料理実習	13	
8.6	料理実習	13	
8.27	〃	13	
9.10	〃	14	
10.8	〃	14	
10.22	〃	14	
11.5	〃	14	
11.26	〃	14	
12.3	〃	14	
12.17	〃 正月料理	14	

和歌山婦人少年室

7.12	講演	42	
------	----	----	--

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
8. 9	家庭生活の合理化について ペンペー来講習	31	
9. 14	講演 初秋の家庭経済について	31	講師 和歌山労協基連局 中尾修氏
10. 13	押絵講習	29	奥野協助員
10. 20	主婦のための消費生活セミナー	44	和歌山大助教授 小園寿子
11. 11	講演 婦人学級のあり方について	34	NHK和歌山放送局 放送部長 佐井秀行氏
12. 13	講演 新らしい生活のあり方	31	室長

鳥取婦人少年室

7. 13	いけばなの指導	7	婦人問題相談員
7. 17	料理実習 夏向の麺料理 材料費 1人当り53円	26	
7. 27	いけばなの指導	9	
8. 3	生活技術指導及び子どもめしつけに ついての講話会 の夏季の食生活について		県立中央児童相談 所長 谷本富蔵氏

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	〇子どものしつけについて		
9.18	料理実習 材料費 1人当り 61円	27	
9.28	いけばなの指導	7	
10.5	〃	8	
10.16	料理実習	19	
10.26	いけばなの指導	7	
11.9	〃	6	
11.21	〃	7	
11.27	料理実習	22	
11.28	主婦のための消費生活セミナー 講演 消費生活について	37	日本海新聞 経済部長 氏 鈴木 実氏
12.7	いけばなの指導	8	
12.18	料理実習 — 正月料理 — 材料費 1人当り 103円	28	
12.28	いけばなの指導	11	

島根婦人少年室

7.20	講義と懇談 1.上半期の決算と反省	16	専任助員
------	----------------------	----	------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
8.24	2. 夏休みの子供の向題 講演 老後のあり方	34	講師 島根新聞社 中本論説委員 長
9.21	講演 主婦の健康	32	講師 松江保健所 野津保健婦長
11.30	講義 10ヵ月の家計の決算	26	
12.14	懇談 今後の反省	24	

岡山婦人少年会 (35.12終了)

7月	1. 婦人少年行政に関する概要説明 2. モデル地区生活技術指導につ て説明 3. 予定生活及び冷たいのみもの (1) 予定生活 家政に関する生活予定のを て方	28	室長 専任協助員
----	--	----	-------------

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
	(2) 予算生活 予算生活の設計について (3) 冷たい飲みもののつくり方 材料費 /人当り 27円		
9.	人 料理実習 材料費 /人当 45 ^円	30	
10	人 衣料整理について ○洗濯＝用材について講義 ○簡易クリーニング＝エルミン ベンジン使 用実習 ○しみぬき＝アロマ使用実習 以上材料費 /人当り 50円		
11.	家計簿のつけ方 家庭経済、家計簿のつけ方を講義	20	
12	料理実習 正月料理 材料費 /人当 93円	10	

山口婦人少年局

期日	指導項目及び内容	出席数	備考
8. 3	1 講義 暑い時の朝食を楽しくする工夫	25	
	2 料理実習		
9. 9	安い蛋白源の上手な使い方 料理実習	24	
9. 30	料理実習	26	
11. 30	講義 家庭生活における色彩について	20	講師 婦人少年局助員 杉本善助氏

徳島婦人少年室

7. 7	子ども会の指導について 子どもの心理状態等についての話しあい	40	
8. 16	幼児から思春期までの性教育 男子と女子の成長期のちがいや性教育をはじめる時期方法等について	45	講師 鴨島保健所長 井上小糸氏
9. 20	人間関係について	40	婦人問題相談員

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	○夫と妻 親と子どもについて ○近隣同志について		
10.20	労働者家族の消費生活のあり方について	35	講師 徳島大学教 授 橋本純二氏
11.17	栄養について より蛋白質と質のよい蛋白質	35	
12.13	1年間の反省と今後の活動について	45	

受 取 婦 人 少 年 室

7.29	1 料理実習 材料費 1人当り 35円 2 講義 蛋白質のとり方 蛋白質の種類 蛋白質の果たす役割 蛋白質を多く含む食品 あつさと栄養	23	
9.28	1 料理実習 材料費 1人当り 105円 2 是なし 労働者家族福祉運動について	29	室 長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
11 /	消費生活セミナー ○ 男労働者家族の消費生活のあり方 ○ 婦人少年局が行なっている労働者 家族の福祉行政について ○ 消費生活に関するアンケート実施	60	講師 松山商大助教授 井上幸一氏 婦人少年局 石井事務官
11 30	料理実習 材料費 1人当り 35円 懇談 お八つの選び方と与え方 正月料理あしこし 1年6ヵ月の反省 家政研究グループへの移行につ いて		

高知婦人少年室

9 6	家計簿の記入の仕方について 記入しながら家計簿の必要性、予 算生活のたて方等も併せて勉強し た。	18	講師 友の会 高泉淑子氏
10 14	全国紅生児童に因んで	20	講師 日本セメント社

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	1. 職場の衛生管理について 2. 家族の健康管理について 3. 懇談		生管理者 川上康哉氏 室 長
11.21	労働者家族主婦の消費生活研究会を 開催 1. 労働者家族の福祉について 2. 消費生活の計画性について 3. 消費生活に関するアンケート 実施 4. 懇談 計画のある消費生活をする ためにはどのような心掛け が必要か、安定した家庭管 理の方法等について話し合 った。	17	講師 友の会 阿部はな氏
12.17	お正月料理の実習	25	
2.28	子どものしつけについて	21	講師 保育専門学校 森岡 和子氏

期 日	指 導 項 目 及 ひ 内 容	出席者数	備 考
	1 幼児期における問題点と解決の手法 2 日常生活のしつけについて 3 青少年期の心理 4 質疑応答		
3. 28	1 年間の反省 過去1年間の自習の成果につき 懇談	14	

福岡婦人少年室

7. 22	a 地区 子どもと偏食について 絶対に必要な栄養でも、偏食すれば何にもならない。労力再生産のためにも労力者自身の偏食が問題などで大人の偏食を含めて子どもの偏食について話し合い対策を考えあつた。	50	専任協助員
-------	--	----	-------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
9.28	反抗期の子どもについて 私たちの家庭生活が子どもにどんな影響を与えているかを討議した。		
10.28	本省主催の消費生活セミナーに参加 な地区	30	
7.19	家計簿の中の食糧費の検討 自分たちの家庭の食糧費が全国の勤労者世帯のそれと比べあるいは福岡県の標準と比べてどうなのかを検討した。 又エンゲル係数のはなしなどをして率を出すことも徐々にやってみる。なおメートル法実施により日常食品の目方がグラムで目算できなく各自計りたい物品を持ちより実際に計画してノートをとった。	37	専任協助員
9.30	家計簿の中の食糧費の検討 出席者を5グループにわけ7月に		

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	引きつづき検討した。特に好き嫌いは労働力の再生産に影響するので嫌いなもので必要な栄養素はどのように工夫したら食べることができたか至談を話しあつた	30	
10.28	福岡市において本省主催の消費生活セミナーが開催された機会に出席		
11.10	家計簿の中の食糧費の検討 野菜のとり方の不足に対してどうしたらよいかを6.6式討議で話しあつた。	37	専任協助員
12.16	野菜のとり方お正月料理のヒントについて	40	

佐賀婦人少年室

11.26	○職場で働く夫と家庭で働く主婦の関係 ○消費生活の合理化 労働者家族として消費生活を	40	専任協助員
-------	--	----	-------

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
12.20	なぜ向上しなければいけないかを説明し、生活の中の多くの無駄を考えてみる態度の啓発に重点をおいて消費生活の移り変りにおくれないよう主婦も合理的に収入を100%有効に使うと話しあつた。 ○家計簿の必要性和記帳の仕方指導	45	

長崎婦人少年室

7/11	1 家計簿のつけ方 ○月集計表から発展させて予算を立ててみる ○予算整理の記入法指導 2 明るい家計 ○明るい家計とはどんなものであるか話し合う ○明るい人間関係と家族の協力	27	
------	---	----	--

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
8. 13	1. 教育費について ○ 家計の中で教育費としての貯蓄は高い率をしめている ○ 子どもの進学、就職についての考え方 ○ 教育費は投資ではない ○ 親と子の考え方の相違点	26	
9. 8	1. 衣生活の合理化 ○ 衣生活の反省と検討 ○ 靴行について いい色とかたち ○ 洋服は目的によつて合理的に係る ○ 中年婦人の服装 ○ 下着のつけ方	31	講師 ドレスメーカー 女学院長 濱崎ユリ子氏
10. 10	1. 主婦の消費生活セミナー ○ 生存と生活の相違 ○ 消費の価値を考える ○ 消費生活について	90	長崎短大教授 酒井ノブ子氏 三菱造船 勤務部長

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
	(1) 時代の認識 (2) 物質的欲望の調節 (3) 物質文明時代の主婦のつとめ、 質疑応答		
11.29	1. 文化教養費について ○各自率を出してみても家庭により差があることを発見する ○家族の人生観の相違を話しあう。 ○家族の生活態度を理解し合う協力し合うことを基にし、家族の生活を犠牲にしてはならない。	34	
12.13	1. 家計帳をつけてみて ○各自自己評価 ○感想意見 ○来年の希望 } 全員発表	37	

熊本婦人少年室

期日	指導項目及び内容	出席者数	備考
9. 9	懇談 車給員の選定 主婦の出産病気の家事の現状について 夜勤の問題について	35	
10.20	講話 幼児期における子供のしつけについて 質疑応答	31	室長
11.21	主婦のための消費生活セミナー実施	73	講師 熊本女子大教授 渡辺実隆氏
12. 8	講話 青少年のしつけについて 質疑応答	27	講師 熊本短大教授 内田 寿氏

大分婦人少年室

11.28	消費生活セミナー 1. 講演	80	講師 大分大教授 白木榮孝氏
-------	-------------------	----	----------------------

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
12.21	労働者家庭の消費生活のあり方 2. 料理実習 3. 懇談 1. 家計経記帳のしかた 2. 料理実習 3. レクリエーション	41	専任協助員

宮崎婦人少年室

7.15	講義 子どもの情操を養うために 実技 折紙細工の研究	17	講師 宮崎大学教授 藤原 勇氏
10.15	児童心理について 1. 家族の生活態度 2. 職教育は何を基本になすべきか	16	講師 宮崎大学助 教授 井上 琢氏
11.15	主婦のための消費生活セミナー 1. 労働者家族の福祉について 2. 消費革命と労働者家庭	13	日向日々新聞 山口 常雄氏

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
	3. 質疑応答 4. 消費生活に関するアンケート 記入		

鹿児島婦人少年室

7.25	子どものおやつのはり方 実習 懇談	40	専任協助員
8.20	内販についての研究会 役員が前回の要望に基づいて実施 した調査結果を発表意見の交換を 行った。	10	
9.7	暮らしの研究会 友の会々員宅を訪問、実施に押入 小、棚、引出し等の整理、使い方 便利な工夫の仕方について説明を きく、又子どもの寝かせ方等につ いて話し合う		
10.22	キッチンカーによる料理講習		
11.17	主婦のための消費生活セミナーを実施	80	

期 日	指 導 項 目 及 び 内 容	出席者数	備 考
12. 8	講演 鹿大助教授 岡部市之助氏 新しい正月の迎え方 ○ 正月料理 ○ 正月の花の取り合せ方といけ方	50	

注 対象事業場の都合により、実施開始のおくれを渠も若干あるが、そのうちの地区では開始の月より1/2ヵ月を1指導期間とするものである。

家政研究グループ動き (上半期分)

茨城婦人少年室

グループ名	月日	項 目 及 ひ 内 容	参加人員	備 考
日之製作所日之工場 上の内社宅家政 研究グループ	4.25	向うノ年間の学習計画をたてた。 4月(ノ年間の計画をて) 5月(家事経済と内販についで) 6月(母の座と子供、夫) 7月(食生活の合理化) 8月(生活時間と経済) 9月(日常食の料理) 10月() 11月(ノ年間の反省、旅行) 12月(来年の生活設計) 1月(正月の反省) 2月(燃料と室内暖房 夫の仕事について反省) 3月(家財道具整理、子供の進学)		

グループ名	月日	項目及び内容	参加人員	備考
	5.26	○レフリーエーミヨン 家事全消と内取について 社宅から何十人と内取に出かける傾向が見えるのでその各角度から研究する。 ○家計簿の各自反省 ○内取の長短注意事項について		
	6.25	母の座を吟味して子どもの教育と、夫の仕事の上に及ぼす影響をよく吟味研究し、よりよき生活態度をかもし出す。 ○母の座 ○どうして明るい、温かい賢い母となるか。 ○夫と子供とが母に対してどうするか。 各自家庭にて話し合う事を約束する。		

グループ名	月日	項 目 及 び 内 容	参加人員	備 考
		レクリエーション		

新潟婦人少年室

(株)新潟鉄工所 新潟支社 や二東幸奈自給 家政研究グループ	5/19	中高生の教育の親の心がまえ	25	講 師 室 長
	6/20	栄養のとり方 耳令別にみたものをグラフに よって説明する	16	

大分婦人少年室

日鉉佐賀岡 製練所 家政研究グ ループ	1/7	家政研究グループの結成は会 社労組提携のうえ、全地域 の主婦に呼びかけられ、希望者 も多く、モデル地区以外にも グループが結成された。従つ て肉類も内販料理、育児子供 の教育、人間関係、家計、趣味 と多種多様にわたり237名の 主婦が参加している。		
----------------------------------	-----	--	--	--

グループ名	月日	項 目 及 び 内 容	参加人員	備 考
	6.9	運営打合せ 既成のグループを調整し、料理、内職、人間関係 家計装趣味の5グループにし、その運営を強化すること、グループの人数については全地区にさらによびかけ、同一人が二つ以上のグループに参加してもよい事など決め、実施要領に基づいて推進する事等を協議		
小野田セメント 津久見工場 家政研究グループ	8/14	家政研究グループ結成について協議 組織については、各地区から運営委員を送出し、月例的事業を企画する、又内容については、病人看護、料	42	専任協助員

グループ名	年月	項目及び内容	参加人員	備考
		理実習、子供の教育、家計簿等の研究を行ないたいの希望が出された。		
	4.20	1. 労働者家族の実態調査 2. 家計簿の記帳指導 3. 料理実習 4. 年間指導計画 5月（子供の生活指導） 6月（家庭経済理論） 梅雨期及夏の栄養について 料理実習 7月（家庭経済と国民経済） 8月（家庭経済理論及懇談調理実習） 9月（老人の問題について老人ホーム等の見学） 10月（季節向き調理実習）	20	専任協助員

グループ名	月日	項 目 及 び 内 容	参加人員	備 考
		レクリエーション		
	11月	労働者家族における主婦の余暇利用		
	12月	家計問題 合理的な正月料理の実習		
	36年 1月	(子供の生活指導)		
	2月	(研究発表会)		
	3月	(講話 懇談会)		
5.15		(1) 家計簿について (日記帳式記帳の指導)		専任協助員
		(2) 子供の生活指導について		
6.15		(1) 梅雨期における栄養について (2) 季節の野菜料理調理実習	16	

家政研究グループの動き (下半期分)

茨城婦人少年室

グループ名	月日	項目及び内容	参加人員	備考
日立製作所 日立工場 上の内社宅家政 研究グループ	7.25	食生活の合理化をはかり、生 済上、栄養上、味について研 究。 家人の健康と和をはかる 各自作製して来献表を研 究する。 レクリエーション	20	
	8.25	1日の時間の使い方について 現状の反省 合理的な生活時間について 各自24時間の生活時間 表を作り、共同研究を行 なう。	20	
	9.25	日常食の料理実習 1日80円の使用し た料理	20	

グループ名	月日	項 目 及 び 内 容	参加人員	備 考
	10.25	日給食の料理実習 1日80円の材料を使用した料理	20	
	11.29	今年の反省 話し合いの中から 1. 燃料の勉強は今でも役に 立ってよかった。 2. 工場見学は視野が高め られた。 3. 子供の手導隣丘所の環 境等に関心が高まった。 4. 24時間をどう使うか を考える机になった。 5. 家庭生活の中で工夫す る気持ちができた 6. 栄養について関心が高 められた。 7. 家計簿をつける習慣が 身についた。	38	モズル地区の 項

大分婦人少年会

グループ名	月日	項目及び内容	参加人員	備考
日鋼佐賀両県 練新家政クラブ 研究会	11.21	料理実習 懇談	105	
	12.12	正月料理実習 懇談 次回行事について	104	
	8.10	お盆料理について 実習 懇談	29	
	9.22	料理実習 懇談	27	
小野田セメント 久見工場近所地 区家政クラブ 研究会	10.18	家計簿のつけ方 懇談	22	
	11.18	家計簿のつけ方 懇談	22	
	12.22	正月料理について 懇親会 1年の反省及び来年行事に ついて	29	

なお、その右モデル地区終了に伴つて、家政研究グループ
に移行したところはノノカ所である。

GAa1/1

8-6-0-4



女性と仕事の未来館



01077922